

三 柔 整 た よ り

2011年7月25日発行
平成23年度 第1号



(あけび 津支部 榎田 忠正)

組織率をアップ

会 長 伊 藤 和 夫



会員の先生方にはご健勝のこととお喜び申し上げます。

平素は本会事業にご理解と多人なご協力に感謝申し上げます。

3月11日の東日本大震災で被災された皆様方のご冥福と一日も早い復興をお祈り申し上げます。会員の先生方にも親戚や友人、お知り合いの方々も少なくないと思います。

災害から日本の政治・経済がさらに行きづまり悪化しているように、我々業界も一昨年前の事業仕分けからますます厳しくなっており、なかなか明るさが見えてきません。

二期4年にわたり無投票で理事が決まっていたましたが、今年度の予算総会で役員改選が行われ新人3名が理事に立候補していただき、理事に若い3名が見事当選されました。本会の運営に新風を吹き込み、若い先生方の考え方・行動力で新事業等に力を発揮してくださることと期待しております。

今、社団が行わなければならない大事なことは、新公益法人に向けた認定申請はもとより、社団の組織率のアップが望まれます、毎年5,000名前後の資格者が誕生しているにも係わらず、9割5分は他団体又は個人に流れ三重県においては一年に4～5名しか入会してきません、このような組織率の低下は国や県や行政に対して発言力も弱くなり、今までのようには行かなくなってきました、ただ三重県社団だけが努力しても余り成果は得られないでしょう。やはり日整のスケールメリットを生かし会員の増強を図るべきだと思います。そして各都道府県においては会員個々に自浄努力をしていただき、我々組織が守らなければならないところはしっかり対応しますが、社団・社団外関係なく協定や契約を不当に逸脱するような柔道整復師には退場していただきます。そのくらい厳しく対応していかなければ受領委任払い制度の存続が危ぶまれ4万人超の柔道整復師の生活を守ることが出来なくなるでしょう。

若い理事の先生を含め新スタッフで組織の強化と健全化を図り、会務の運営に努力して参りたいと思います。どうか会員皆様のご協力を宜しくお願いします。

平成 23・24 年度新役員

会 長	伊藤 和夫
副 会 長	伊藤 宣人（保険・介護保険担当）
副 会 長	豊田 長億（学術担当）
常務理事	小柴徳太郎（経理部長）
理 事	服部 和人（総務部長）
理 事	橋本 誠（柔道部長）
理 事	伊藤 昌夫（広報部長）
理 事	西口二三雄（経理副部長）
理 事	中村 明彦（保険・介護保険副部長）
理 事	内藤 将善（学術副部長）
理 事	坂本 貴哉（広報副部長）
監 事	梶田 忠正
監 事	小川 剛生

祝 伊藤和夫会長に日整「帰一功労賞」



6月12日日整通常総会に先立ち、本会伊藤和夫会長に日整の最高栄誉賞である「帰一功労賞」が贈られました。

「帰一賞」は、講道館柔道の創始者である嘉納治五郎先生の雅号「帰一斎」と、『整骨新書』の著者であり、江戸時代の整骨医の中で学識人格共に優れた各務文献先生の雅号「帰一堂」の双方に因んで命名され、柔道整復師界の発展に著しく寄与した会員に贈られる日整最高栄誉賞として、昭和46年に制定されたものです。

当選証書授与式及び新理事打合せ会開催

平成23年3月27日(日)本会会館2階会議室において、当選証書授与式が行われました。若林績善選挙管理委員長より3月20日の理事選挙で当選した新理事11名及び新監事に当選証書が授与されました。その後新理事打合せ会が開催され、新役員の役割分担について、当面の行事予定についてなど協議しました。

平成 23 年度各支部役員

支部名	支部長	保険部・介護保険部	学術部	総務部	広報部	柔道部
桑 名	加藤 正一	梅田 信政	山下 藤夫	宮田 義弘	池田 尚弘	伊藤 孝彦
四日市	小柴徳太郎	寺田 州克	辻岡 豊	本間 信海	倉谷 幸希	船越 将吾
鈴 鹿	豊田 長億	矢ヶ瀬文行	小山 忠宣	矢ヶ瀬文行	前田 信	請井 康人
津	若林 績善	上杉 工	内藤 将善	川口 泰史	日野 勝	川端 浩
伊 賀	山出 美材	河野 功行	千早 秀之	福岡 啓考	安井美津雄	札堂 勇
松 阪	押越 正	押越 正	井田 靖浩	前川雄一郎	坂本 貴哉	田端 隆宣
伊 勢	村木 進	中村 武弘	山本 憲	鈴木 正浩	林 栄二	西岡 正訓
牟 婁	前田 武久	世古 善平	東 徳和	仲 保史	芝下 浩章	畠 崇晃



本格的な夏を迎え、皆様におかれましては健やかに
お過ごしのこととお慶び申
上げます。

甚大な被害をもたらした
東日本大震災から 4 か月が
経とうとしております。

被災地においては全国および世界からも支援を受け、復旧、復興の作業が行われ続けていますが、さまざまな問題、政治の停滞等によりまだまだ復興の道のは険しいように聞いています。また、この震災による福島原発の放射能漏れによる問題は、原発の地域のみならず、日本中においてもその影響が拡散するのではないかと懸念され、専門家による放射能汚染の早期の終息と更なる安全化が求められているところです。

昨年来の療養費において 4 部位目の包括、適正化として、多くの付帯事項が課せられ、取り巻く環境はますます厳しさを増すばかりです。

このことは柔道整復師業そのものの社会的信用の失墜であることに他なりません。

このような状況になったのは一部の心ない柔道整復師のモラルのなさが問題となり事業仕分けに取り上げられたことが大きく影響しています。

どのような世界でもコンプライアンス（法令遵守）とモラル（道徳、倫理）を守らなければ必ず社会から批判を浴びてしまい、最後は国民から見放されることに成ってしまいます。

自分さえ良ければ？それぞれが個人であっても、多

くの人と人との繋がり、また、組織としての関わりがあり、一人のモラルのなさが社会全体に反映されてしまいます。

健保はもとより、自賠責保険においても、まさにモラルが指摘され今後のあり方が検討されているようです。大阪高裁平成 21 年 4 月 27 日判決により、30 対 70 の過失割合（被害者過失 30）母親と 3 歳児、母親 5 か月半、3 歳児 3 か月弱、ほぼ毎日の通院施術、柔道整復師の判断した負傷名 5 部位（頸椎捻挫・1 部位のみ医科の診断、他の 4 部位は医科の診断なし）、これにたいして医師の診断に基づかない負傷については認めず、柔整施術は長期間に及ぶこと、一回あたりの施術が多部位にわたるとの理由で 5 か月半の施術にたいして、医師の診断期間、2 週間の施術しか認めなかった判決が下っています。

この判例の論旨を読めば読むほど、この柔道整復師のモラルが問われ、初検時における負傷部位の決定、経過にたいする対応、過剰な施術等、また、我々にとって最も大事な医接連携を重視しなかった結果ではないでしょうか。

このような判例のすべてが柔道整復師業に反映してくる事実と、これを以って同じようなものとして判断されかねません。

業界の社会的信頼を回復するためには、多くの時間と限りない努力が必要とされます。

どうか、長い歴史の中で培われた受領委任制度を堅持するためにも今一度、業務を見つめ直し適正化に努めてください。



木曽三川公園チューリップ祭 2011

これからが肝心です

学術担当 副会長 豊田 長億



まず東日本大震災に際し甚大なる被害を受けた地域や人々に対し心より謹んでお見舞い申し上げます。一刻も早い復旧・復興を心からお祈りします。

さて会員の先生には益々ご健勝であられることと存じます。また本会運営に際しましては多大なご協力を頂き深く感謝しています。

伊藤和夫会長指名の学術担当副会長で 2 期目となります。今期もどうぞ宜しくお願いします。

勉強会のお知らせ

本年度より新しい試みとして本会 2 階会議室で勉強会を開催します。自賠責保険あり肩関節脱臼の整復ありといろいろとあります。進んで参加してもらい先生同士の交流・高揚の場にもっていきます。奮って参加してください。

第 1 回 … 4 月 24 日 第 2 回 … 8 月 7 日 第 3 回 … 11 月 27 日

例えば ①柔整療養費、労災、自賠責保険取扱等の相談 ②パソコン相談 ③日常の施術で悩んでいる症例等
(なお第 1 回勉強会は 13 名参加+役員 午前 10 時から 12 時 40 分過ぎまで白熱の勉強会でした)

日整役員改選について

本会初の日整会長選 (6 月 12 日) に伊藤和夫会長を推薦し応援させていただきましたが、残念な結果に終わりました。まだまだ変えるべき事が多々ある中、今の政治家と同じ事をやっている場合ではありません。いま日整は世代交代の時と考えますが会員の先生はどう思いますか。

学術保険研修会について

9 月 25 日の学術保険研修会の学術部門のほうは【MRI 読影の基本】をテーマに Dr に講義をお願いしています。「正常像から病変の認識まで」をサブテーマに MRI の勉強を行いたいと存じます。奮って参加を宜しくお願いします。

東海学会愛知大会・中部接骨学会のお知らせ

11 月 6 日 (日) に愛知県名古屋市のウィングあいち (旧愛知県中小企業センター) で開催予定ですが、昨年同様多くの会員の先生方の参加をお待ちしています。今年は伊賀支部の札堂勇先生に 9 月の学術保険研修会と 11 月の東海・中部接骨学会に於いて研究発表をお願いしました。学術部一丸となり抄録、プレゼンテーション、学会誌投稿に協力させていただきます。今後は学会研究発表に対し強力にバックアップができる体制作りが重要ではないでしょうか。

日本柔道整復接骨医学会について

学術大会が千葉県幕張メッセ国際会議場で 10 月 22 日 (土) 23 日 (日) と開催予定ですが、日本柔道整復接骨医学会学会誌 19 巻 3 号に綴込みの振込用紙 (払込取扱票) 通信欄に必要事項をご記入のうえ、送金して下さい。参加費は左記の通りです。

参加者区分	事前参加 申込み	平成 23 年 8 月 2 日以降 及び当日参加申込み
正会員	6,000 円	8,000 円
認定柔道整復師	4,000 円	8,000 円
学生会員	2,000 円	3,000 円
臨時会員 (非会員)	—	10,000 円

※事前参加申し込み締切日は、平成 23 年 8 月 1 日 (月) です。

【大和路散策第 2 弾】

奈良の長谷寺へ昨年に続き行ってきました。公務から離れ 4 月 17 日約 5 時間程の妻と 趣味のドライブでした。

今回は五重の塔に桜がまつわりついているようで、遠くから眺めると素晴らしい景色でした。東日本大震災の影響からか外国人観光客はほとんどいない状況でした。思い切って室生寺まで脚を伸ばしたのですが、日ごろあまり階段を上り下りしていない私は 4 日後の起床時に右下腿部に筋痙攣が発生し四苦八苦しました。日ごろの運動不足のつけがきたと実感した次第です。



常務理事 経理部長 小柴 徳太郎

この度の理事選挙で先生方に選出頂きまして理事に就任いたしました。

その後理事会において常務理事兼経理部長の任を頂きました四日市支部の小柴徳太郎です、宜しく願いを申し上げます。

東日本地震災害は日本全体に先行きの分からない不安の影を落としておりますが、幸いにも私共は何の被害を受けることなく生活が出来ております。当面の目標であります公益法人の認可を得る為、粛々と準備をしなければ成らないと思います。今後の景気回復状況によっては、保険の締め付けなど厳しさも予想されます。組織全体の尚一層の努力が必要と思います。

常務理事として皆様方の御協力を頂きまして一日一歩ずつ邁進して行く様に頑張ります、御協力をお願い申し上げます。



総務部長 服部 和人

この度、総務部長を拝命いたしました伊勢支部の服部和人でございます。

まず、3 月 11 日の東日本大震災において犠牲となられた方々にご遺族に対し哀悼の意を表するとともに、被災されました方々に心からお見舞い申し上げます。また被災地の日も早い復興を心より祈念いたします。

さて、総務部とは何をするのか？私の最初の疑問でした。すべての行事に係らなくてはならないことを聞かされ、本会の行事が円滑に遂行されるよう無くてはならない重要な部署と認識いたしました。それならば「総務部は縁の下の力持ちに徹しなければならない。」これが私の出した答えでした。幸いにも理事の先生方、事務局の皆様も頼りになる方々ばかりです。皆様のお力添えをいただき業務を遂行していきたいと思っております。

また、今回の東日本大震災に鑑み、三重県との「災害支援活動に関する協定」の締結も急務ではないかと思います。

さらにホームページのリニューアルにも着手しなければなりません。是非とも協同組合とタッグを組み、見やすく、解りやすく、さらに便利に、そして様々な情報を発信できるホームページにしていきたいと思っております。先日、総会で皆様にお配りした柔整師必携の CD 版などもホームページの会員ページからダウンロードできるようにすれば CD 作成に費用を掛けなくて済むようになります。最後に、公益法人に移行する大変重要な時期でもあります。どうか会員皆様の御協力、御指導、御鞭撻を賜りますよう心からお願い申し上げます。



広報部長 伊藤 昌夫

このたびの役員改選を経て、再度広報部長を拝命しました。どうぞよろしくお願い致します。

今回東日本大震災で被災されました皆様にお見舞い申し上げ、一日も早い復興をお祈りいたします。

今本会が取り組んでおります公益社団法人移行につきましては、様々な課題がありますが広報部におきましても「三柔整たより」の更なる充実と、一般向け公益目的としまして「かわら版」(仮称)を秋・春の発行を目指しております。内容としまして施術室に掲示し、一般向けの種々情報を提供して行きたいと思えます。「広報」を辞書で調べますと「一般に広く知らせる」とあり、まさにその通りの取組みが必要とされます。皆様からの種々アイデアをいただけますようお願いいたします。

幸い今期は、坂本貴哉先生に広報副部長としてお手伝いいただけることとなり、各支部広報部員の先生方のお力添えも合わせ、更に向上したいと思えます。会員皆様のご健勝とご発展を祈念すると共に、今後とも本会の事業推進へのご理解・ご協力をお願い致します。



柔道部長 橋本 誠

3月の総会にて、3期目の理事として就任をさせて頂き、又、前期と同様に柔道部長という役職でお世話になる事になりました。宜しくお願いします。

まず始めに、この度の東日本大震災で被災された方々に謹んでお悔やみとお見舞いを申し上げます。この未曾有の災害に自然の怖さと、人間の自然に対する甘さをまざまざとみせられた様な気がします。自然が向かう方向と人々の快適な生活への方向性の違いが、この様な惨事を招いたのではないかと考えています。しかも政府の対応の不味さも重なったせいなのか、その後の復興も遅れ、原発の収束の時期にもめどが立たず、被災者の方々は大変ご苦労をなされている事を強く感じております。重ねてお見舞い申し上げます。

さて毎年の様に本会の柔道行事としては、特に変化はありませんが、会員の先生方のご協力により、内容的には良い方向に向かっている様に感じています。

今年度の主な行事予定

6月26日	第17回	柔整師杯県下少年柔道大会
7月24日	第30回	東海ブロック会柔道大会
	第8回	柔整師杯東海柔道選手権大会
10月10日	第35回	日整全国柔道大会
	第20回	日整全国少年柔道大会

県大会では、本年度は、ご協力して下さる先生方も多数で、大変嬉しく思っております。また、県下少年柔道大会のポスターをカレンダー形式にいただき、とてもアピール度もグレードアップされたと思えます。同大会も近日にせまり、事務所の方々と協力し、着々と準備を進めております。東海大会では、静岡県浜松市の浜北アリーナで行われます。本会の選手、審判等は、すでに決定しており、4,5,6月と高田高校にて稽古に励んでまいりました。日整大会では、少年の形競技会が、新たに加えられ、本年度は東海西部の代表として岐阜県が担当していただく予定になっております。

最後に救護関係ですが、柔道協会が東海も担当する事で、試合数が増し必然的に救護の回数も増してくると思えますので、何卒会員の先生方のご協力をお願い致します。私も、この2年間、会長を支えながら、会務に努力していく所存であります。

簡単ではございますが、就任の挨拶とさせていただきます。



経理副部長 西口 二三雄

この度の理事改選において、会員皆様方のご協力ご支援により理事に選んでいただき誠にありがとうございます。

今期の役員改選において、経理副部長という重要な業務をおおせつかりました。お金の管理監督は非常に重要な業務であり、その職責の重さに身の引き締る思いであります。この仕事におきましては顧問会計士、又小柴経理部長のご教示ご指導の下、適正な会計処理並びに業務運営の効率化に努力いたします。そしてこの度、理事を拝命いたしました2年間を皆様方のご協力のもと、全力で頑張ります。最後に、会員の皆様方のご指導ご支援をお願い申し上げ、理事及び役員就任のご挨拶とさせていただきます。



保険・介護保険副部長 中村 明彦

この度、伊藤宣人保険担当副会長のもと保険副部長として務めさせて頂くこととなりました、よろしくお願いします。

つい数ヶ月前までは、私がこの様な責務に就くとは想像もしていませんでした。ただ今まで自分を育ててもらいました先輩方々への感謝の気持ちと、先人達が築き守って来た三重県柔道整復師会を次の世代の先生達に引き継ぐ為に、少しでも力になればと考えております。久々に自主審査会に出席して、なつかしさを感じると同時に柔道整復師に対する保険者からの厳しい視線を感じる今頃でもあります。反対に保険者側にも柔道整復師に対して傲慢な態度がみられる事も事実ですが、会長・副会長の指導のもと又事務局の正確なレセプト確認発送作業に助けられる事があります。

今後とも会員である事のメリットを感じてもらえる様に、執行部として私も勉強して行きたいと考えております。今後とも会員の皆様の御指導の程、よろしくお願い致します。



広報副部長 坂本 貴哉

今回の役員選挙で理事に就任させていただきました、松阪支部の坂本です。本会へ入会して20年になりますが、理事での仕事は初めてになります。

これから2年間は、広報の副部長として本会の行事をビデオ撮影したり広報誌の作成などを担当させていただきます。少しでも本会の運営に協力できればと思っていますので、よろしくお願い致します。



新役員になって

学術副部長 内藤 将善

私が本会の役員になることなど痴しく立候補するなど、全く考えていなかったのですが、我々若い世代の誰かが業務、運営を勉強していかなければならない時にきていると思い決意しました。

柔整業界への風当たりも強く明るい話題の少ない近頃ですが、今、若い先生方が何をしなければいけないかというこういう時期だからこそ、技術向上の努力をしなければいけないと思います。

若手の先生のなかで、骨折、脱臼の整復や固定の経験が殆んどない先生や、いまさら聞けない様な質問、疑問を抱えている方、あるいは各スポーツ、障害に対してそれぞれに得意分野をお持ちの方々がおられるかと思っています。私の場合、野球を少年時代からやっておりますので野球の患者さんが多く、肩、肘の関節障害のケア得意ですがバスケやバレーの膝の障害は苦手です。

そういう様々なケアの情報交換等を行いながら、互いの技術を高めあっていく場を今年から定期的に学術部で勉強会を行う予定です。

是非、ベテランの先生ご指導を賜りたく存じていますので若い先生もベテランの先生も、この勉強会にご参加くださいようお願いします。

そしてお互いに力をつけて一日一日の仕事を丁寧に、確実にできるようがんばりましょう。

今後ともよろしくご指導くださいますようお願い致します。

小暑の候 先生方にはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

先の大震災の影響を受け日本全体を覆う景気の停滞感や電力不足への問題等、先行きは全く不透明であり、明るい日差しは見えてこないようである。

今、我々はどのように対処しなければならないのか？

過去に読んだ本のなかで、宮本武蔵が晩年に書いた十智と言う書があり、そのなかに変と言うことを説いている。つまり、『知恵のある者は一から二に変化する。ところが知恵のない者は、一は常に一だと思い込んでいるから知者が一から二に変化をするのを嘘だと言い、約束が違ったと怒る。しかしながら場に応じて身を変え心を変える事は兵法のたいせつな極意なのだと述べている。』

現代のめまぐるしく変化する社会において、我々はいかに智者になり変化に対応しなければならないのだろうか。柔道整復師の職業は、そう簡単にその場に応じて変化できるものではないと感じているが、協同組合としては何かできるのではないかなと思う。

いずれにせよ社団が新公益法人に認可され、協同組合として大きな役割を果たさなくてはならないときはしっかりと変化を求めたい。

どうか組合員の皆様のご意見、ご指導、ご協力の程、宜しくお願い致します。



社団法人三重県柔道整復師会監事に就任して

監事 桝田 忠正

平成 23 年度監事に就任しました津支部 桝田忠正です。前年度は理事として職務を全うしましたが、これからの 2 年間も監事の職責を果たせるよう頑張ります。

公益法人化に向けて予算編成書、決算書等年々変化してきている事は会員の先生方も御存じの通りです。これからも理事会の中で細分化され、検討されたいと思います。私共監事としては理事会あるいは、作業部会等のチェックをして行きたいと思っています。会員先生方のご協力をお願いします。

新任の理事の先生方がこれからの柔道整復師会を、新しい眼で、視点で、考えて、引っぱって頂きますようお願い致します。



あけび



監事 小川 剛生

従来民法においては必ずしも監事の設置は規定されていないが、「公益法人の設立許可及び指導監督基準」では必ず 1 名以上置くこととされている。このことから公益法人化に向けて監事の役割が重要となってくる。その職務内容については従来と同じく、法人の財産の状況の監査と、理事の業務執行状況の監査である。この職務に向け従来にも増して厳しく、正確に対応する所存である。



IT 委員長 岩本嘉生

本年度 IT 委員長に委嘱されました。

今まではパソコンのワープロ、表計算などに精通しているだけで良かったものが、いまや電子情報処理は、それだけでは足りません。携帯電話やネット通信の発達により、大量情報が可能となり、画像、映像情報が当たり前となってきました。

これらの事を会務に活用出来れば、より良い情報発信基地になるものと考えています。その為には会員の皆様が知りたい情報、例えば各業者のレセコン情報その他の指定業者のこと、またパソコンの情報、ホームページやメールなど、会員の皆様が幅広く活用できるアイデアを取り入れ推進していきたいと存じます。ご協力の程、宜しくお願いいたします。

会務・会長執務報告

(平成 23 年 2 月～平成 23 年 7 月まで)

月 日 曜日			本 会 事 業		月 日 曜日	日 整 ・ 東 海			
平成 23 年									
2	2	水	東海北陸厚生局指導監査立会い	東海北陸厚生局	2	4	金	日整常務理事会	日 整 会 館
	7	月	自主審査会	本 会 会 館		5	土	東海ブロック会会長会・中部接骨学会合同会議	愛 整 会 館
	10	木	労災審査会	三 重 労 働 局		15	火	日整理事会	日 整 会 館
	13	日	5 役会議	本 会 会 館		23	水	柔道整復研修試験財団評議委員会	東京都港区高輪長田ビル4階
	16	水	協会健保審査会	全健協ポルタ久居		24	木	日整学術作業部会	日 整 会 館
	20	日	第 7 回理事会、保険研修	本 会 会 館		27	日	茨城県社団 50 周年記念式典	水戸プラザホテル
	25	金	国保審査会	自 治 会 館					
3	6	日	第 8 回理事会	本 会 会 館	3	3	木	日整常務理事会	日 整 会 館
	6	日	自主審査会	本 会 会 館		5	土	東海ブロック会予算理事会	愛 整 会 館
	10	木	労災審査会	三 重 労 働 局		8	火	日整理事会	日 整 会 館
	13	日	みえ・医療と健康を守る会	三重県医師会		9	水	中和医療専門学校卒業式	中 和 医 療
			柔道部研修会	三 重 武 道 館		12	土	米田柔整専門学校卒業式	米 田 柔 整
	16	水	協会健保審査会	全健協ポルタ久居		14	月	日整 ISM 会議	日 整 会 館
	20	日	選挙管理委員会	三重県教育文化会館		24	木	日整理事会	日 整 会 館
			第 54 回通常総会（予算・役員改選）	三重県教育文化会館					
	27	日	新理事当選証書授与式・新理事打合会	本 会 会 館					
	29	火	国保審査会	自 治 会 館					
4	5	火	自主審査会	本 会 会 館	4	7	木	東海ブロック会事務引継ぎ	本 会 会 館
	10	日	第 1 回理事会・柔道練習	本 会 会 館		9	土	米田柔整専門学校入学式	米 田 柔 整
	14	木	労災審査会	三 重 労 働 局				第 46 回東海学会愛知大会打合せ	米 田 柔 整
	15	金	国保審査会	白 治 会 館				第 93 回中部接骨学会打合せ	米 田 柔 整
	24	日	第 1 回勉強会（学実技・IT・相談等）	本 会 会 館				東海ブロック監査会	米 田 柔 整
								東海ブロック会正副会長会	米 田 柔 整
						28	木	日整理事会	日 整 会 館
						29	金	日整臨時代議員会	日 整 会 館
								日整臨時総会	日 整 会 館
5	1	日	平成 22 年度会計監査	本 会 会 館	5	10	火	日整理事会	日 整 会 館
	6	金	自主審査会	本 会 会 館		14	土	東海ブロック会決算理事会	愛 整 会 館
	8	日	第 2 回理事会	本 会 会 館		21	土	東海ブロック会代議員会	愛 整 会 館
			柔道練習・保険研修会	本 会 会 館		26	木	研修試験財団第 1 回評議員会	東京都港区高輪長田ビル4階
	11	水	協会健保審査会	全健協ポルタ久居		28	土	東海ブロック会会長会	愛 整 会 館
	12	木	労災審査会	三 重 労 働 局		31	火	日整学術部会	日 整 会 館
	17	火	国保審査会	自 治 会 館					
	22	日	第 55 回通常総会	ホテルグリーンパーク津					
			第 11 回協同組合通常総会	ホテルグリーンパーク津					
6	5	日	自主審査会	本 会 会 館	6	7	火	日整常務理事会	日 整 会 館
			第 3 回理事会	本 会 会 館		8	水	日整理事会	日 整 会 館
	9	木	労災審査会	三 重 労 働 局		12	日	日整代議員会	日 整 会 館
	12	日	柔道練習	高 田 高 校				日整総会	日 整 会 館
	15	水	協会健保審査会	全健協ポルタ久居		19	日	北信越学会	新 潟 県
	21	火	国保審査会	自 治 会 館					
	25	土	柔整師杯第 17 回少年柔道大会準備	サンアリーナ					
	26	日	柔整師杯第 17 回少年柔道大会	サンアリーナ					
7	5	火	自主審査会	本 会 会 館	7	3	日	全国保険担当者会議	日 整 会 館
	13	水	協会健保審査会	全健協ポルタ久居		10	日	第 17 回東海 4 県役員合同協議会	愛 整 会 館
	14	木	労災審査会	三 重 労 働 局		24	日	第 30 回東海ブロック会柔道大会	浜北アリーナ
	19	火	国保審査会	自 治 会 館				柔整師杯第 8 回東海少年柔道大会	浜北アリーナ
						31	日	全国介護保険担当者会議	日 整 会 館

今後の事業日程

本会行事				日整・東海行事					
8	5	金	申請書提出・自主審査会	本 会 会 館	8	21	日	大阪学会	大 阪 市
	7	日	勉強会 (学実技・IT・相談等)	本 会 会 館		28	日	四国学会	愛 媛 県
	10	水	協会健保保険審査会	全健協ポルタ久居		30	火	日整臨時総会	日 整 会 館
	11	木	労災審査会	三 重 労 働 局					
	19	金	国保審査会	自 治 会 館					
9	4	日	理事会④・保険研修・柔道練習	本 会 会 館	9	11	日	東京都学会	東 京 都
	5	月	申請書提出・自主審査会	本 会 会 館				卒後臨床研修開講式	愛 整 会 館
	8	木	労災審査会	三 重 労 働 局					
	9	金	協会健保保険審査会	全健協ポルタ久居					
	16	金	国保審査会	自 治 会 館					
	25	日	学術・保険研修会	アストホール					
10	5	水	申請書提出・自主審査会	本 会 会 館	10	2	日	卒後臨床研修②	愛 整 会 館
	12	水	協会健保保険審査会	全健協ポルタ久居		9	日	第 17 回日整生涯学習講習会	日 整 会 館
	13	木	労災審査会	三 重 労 働 局		10	月	第 20 回日整全国少年柔道大会	東 京 講 道 館
	18	火	国保審査会	自 治 会 館				第 35 回日整全国柔道大会	
						16	日	卒後臨床研修③	愛 整 会 館
						22	土	日本接骨医学会	千 葉 県 (幕 張)
						23	日	日本接骨医学会	
						30	日	近畿学会	奈 良 県
11	7	月	申請書提出・自主審査会	本 会 会 館	11	3	木	卒後臨床研修閉講式	愛 整 会 館
	9	水	協会健保保険審査会	全健協ポルタ久居		6	日	第 46 回東海学会愛知大会	名 古 屋 市
	10	木	労災審査会	三 重 労 働 局				第 93 回中部接骨学会	
	13	日	平成 23 年度中間会計監査	本 会 会 館					
	15	火	国保審査会	自 治 会 館					
	27	日	勉強会 (学実技・IT・相談等)	本 会 会 館					
12	5	月	申請書提出・自主審査会	本 会 会 館					
	8	木	労災審査会	三 重 労 働 局					
	9	金	協会健保保険審査会	全健協ポルタ久居					
	19	月	国保審査会	自 治 会 館					
	25	日	理事会⑤	本 会 会 館					
平成 24 年					平成 24 年				
1	5	木	申請書提出・自主審査会	本 会 会 館					
	12	木	労災審査会	三 重 労 働 局					
	13	金	協会健保保険審査会	全健協ポルタ久居					
	15	日	理事会⑥	本 会 会 館					
	17	火	国保審査会	自 治 会 館					

会報告および 連絡事項



二見蛙・無事かえる・若かえる・貸したものがかえる

- 平成 23 年 7 月 24 日（日）静岡県浜松市の浜北グリーンアリーナで開催の、第 30 回東海ブロック会柔道大会に本会からは、古市 博己、橋本 覚、西岡 正訓、田端 隆宣、札堂 勇会員が三重県代表として出場いたします。
みなさまの応援よろしくお願いいたします。
- 平成 23 年 11 月 6 日（日）名古屋市の愛知県産業労働センター（ウインクあいち）大ホールにて（社）日本柔道整復師会 第 46 回東海学会愛知大会・第 93 回中部接骨学会が開催されます。
本会より研究発表者は、伊賀支部 札堂 勇会員による研究予定で、テーマ「膝関節捻挫の一治験例」です。

《平成 22 年度第 5 回理事会》

- 日 時**：平成 22 年 12 月 26 日
場 所：三重県柔整会館 定足数 10 名
出 席 者：伊藤(和) 伊藤(宣) 豊田 榊田 小柴 西口 橋本 伊藤(昌) 任田 山本
オブザーバー(監事)小川 亀山
- 報告事項**
- 1 各審査会報告
 - 2 第 19 回日本柔道整復接骨医学会(富山)について
 - 3 平成 22 年 9 月 26 日、第 2 日目卒後臨床研修会(施術録)について
 - 4 平成 22 年度学術・保険研修会について
 - 5 平成 23 年度第 1 回日本柔道整復接骨医学会評議員会・総会について
 - 6 三重県健保連：事務担当者研修会について
 - 7 申請書の統一について
 - 8 東海学会静岡大会・中部接骨学会について
- 審議事項**
- 1 ホームページについて
 - 2 平成 23 年新春意見交歓会タイムスケジュールについて
 - 3 平成 24 年度東海四県柔道大会会場・日程について
 - 4 花岡サッカー少年団より救護ボランティア要請について
 - 5 中和医療専門学校新年交歓会について

《平成 22 年度第 6 回理事会》

- 日 時**：平成 23 年 1 月 16 日
場 所：ホテルグリーンパーク津 定足数 10 名
出 席 者：伊藤(和) 伊藤(宣) 豊田 榊田 小柴 西口 橋本 伊藤(昌) 任田 山本
オブザーバー(監事)小川 亀山
- 報告事項**
- 1 超音波について
 - 2 日本整形外科学会の報告書の内容について
 - 3 鈴鹿市役所生活支援課(生活保護)について
 - 4 平成 24 年度東海四県柔道大会会場・日程について
 - 5 平成 23 年度年間行事カレンダーについて
 - 6「三柔整たより」について
- 審議事項**
- 1 平成 23 年度新春意見交歓会タイムスケジュール(案)について
 - 2 本会ホームページについて

《平成 22 年度第 7 回理事会》

- 日 時**：平成 23 年 2 月 20 日
場 所：三重県柔整会館 定足数 10 名
出 席 者：伊藤(和) 伊藤(宣) 豊田 小柴 橋本 伊藤(昌) 任田 山本
オブザーバー(監事)亀山
- 委 任 状**：榊田 西口
- 報告事項**
- 1 各審査会報告
 - 2 平成 23 年度東海・中部接骨学会研究発表者について
 - 3 日臨整会報について
 - 4「三柔整たより」(1 月 25 日発行済)の顛末について
 - 5 県下少年柔道大会ポスター作成について
 - 6 柔道協会、少年柔道、柔整師柔道大会関係報告
- 審議事項**
- 1 平成 23 年度事業計画(案)・予算(案)について
 - 2(社)三重県柔道整復師会救護ボランティア活動規定(案)について
 - 3 会員の休会・退会の取り扱いについて

《平成 22 年度第 8 回理事会》

- 日 時**：平成 23 年 3 月 6 日
場 所：三重県柔整会館 定足数 10 名
出 席 者：伊藤(和) 伊藤(宣) 豊田 榊田 小柴 橋本 伊藤(昌) 任田 山本
オブザーバー(監事)小川 亀山
委 任 状：西口
報告事項 1 各審査会報告
2 (社)三重県柔道整復師会救護ボランティア活動規定(案)について
3 第 17 回柔整師杯県下少年柔道大会ポスター等について
4 柔道協会、社会人柔道大会、日整全国少年柔道大会「形の競技」について
審議事項 1 第 54 回通常総会事項書及びタイムスケジュールについて
2 県知事・県議会議員選挙立候補予定者推薦について

《平成 23 年度第 1 回理事会》

- 日 時**：平成 23 年 4 月 10 日
場 所：三重県柔整会館 定足数 11 名
出 席 者：伊藤(和) 伊藤(宣) 豊田 小柴 服部 橋本 伊藤(昌) 西口 中村 内藤 坂本 榊田 任田 山本
オブザーバー(監事)小川
報告事項 1 各審査会報告
2 平成 23 年度東海・中部接骨学会について
3 ボランティア活動について
4 東日本大震災義援金拠出について
5 新役員の役割分担について
6 本会チャリティーゴルフ大会について
7 勉強会について
審議事項 1 定款及び定款施行細則の一部見直しについて
2 第 55 回通常総会と意見交歓会について
3 緊急時連絡網について
4 平成 23 年度学術・保険研修会の学術講師について
5 三重県空手連盟からの後援依頼について
6 県下少年柔道大会について
7 ホームページについて
8 日整代議員選挙について

《平成 23 年度第 2 回理事会》

- 日 時**：平成 23 年 5 月 8 日
場 所：三重県柔整会館 定足数 11 名
出 席 者：伊藤(和) 伊藤(宣) 豊田 小柴 服部 橋本 伊藤(昌) 西口 中村 内藤 坂本 榊田 山本
オブザーバー(監事)小川
委 任 状：任田
報告事項 1 各審査会報告
2 平成 23 年度第 1 回東海・中部接骨学会打合せ会について
3 平成 23 年度第 1 回勉強会について
4 日整代議員会について
5 会員名簿作成について
審議事項 1 定款施行細則の一部変更について
2 第 55 回総会及び意見交歓会の詳細について
3 災害防止協定・緊急連絡網等について
4 少年柔道大会について
5 三柔整たよりの発行について
6 チャリティーゴルフ大会について
7 趣味のコーナーについて
8 学術・保険研修会の学術講師について

平成 22 年度中部接骨学会収支決算書

平成 22 年 4 月 1 日～平成 23 年 3 月 31 日

1. 一般会計

収入の部

単位：円

科 目	予算額	決算額	比較増減	摘 要
1. 会費収入	5,963,000	6,013,000	50,000	愛知県柔整師会 832 名 岐阜県柔整師会 338 名 三重県柔整師会 172 名 静岡県柔整師会 331 名 本部 285 名 一般会員 5 名 卒業生 90 名 (3 年分) 学生 329 名
2. 広告掲載料	350,000	290,000	-60,000	学会誌広告掲載料
3. 利息収入	30,000	2,007	-27,993	
4. 雑収入	30,000	10,000	-20,000	祝儀等
本年度収入合計	6,373,000	6,315,007	-57,993	
前年度繰越金額	5,908,003	5,908,003	0	
収入合計	12,281,003	12,223,010	-57,993	

支出の部

単位：円

科 目	予算額	決算額	比較増減	摘 要
1. 管理費				
事務費	1,560,000	1,560,000	0	
旅費交通費	460,000	195,055	-264,945	
通信費	50,000	50,000	0	
設備備品費	50,000	13,980	-36,020	
消耗品費	30,000	0	-30,000	
その他会務費	10,000	2,515	-7,485	残高証明等
2. セミナー活動費				
セミナー会議費	150,000	0	-150,000	
課題研究費	150,000	230,000	80,000	
その他セミナー活動費	200,000	97,952	-102,048	電話、切手、郵送、配布資料代等
3. 会議費				
役員会議費	90,000	68,190	-21,810	
会議案内費	10,000	8,790	-1,210	
その他会議費	20,000	10,500	-9,500	抄録等原稿発送代
4. 学会費				
準備費	320,000	300,000	-20,000	抄録検討委員費用
案内費	270,000	229,958	-40,042	
その他学会費	650,000	593,840	-56,160	役員、実行委員弁当、反省会等
5. 学会誌発行費				
印刷費	2,500,000	2,420,776	-79,224	
編集費	20,000	1,860	-18,140	
発送費	260,000	208,026	-51,974	
その他発行費	10,000	3,310	-6,690	学会誌広告案内発送代
6. 雑費	10,000	4,305	-5,695	
7. 予備費	50,000	0	-50,000	
本年度支出合計	6,870,000	5,999,057	-870,943	
本年度繰越金額	-497,000	315,950	812,950	
※次年度繰越金額	5,411,003	6,223,953	812,950	
支出合計	12,281,003	12,223,010	-57,993	

※次年度繰越金額 6,223,953 円 内訳 (前年度繰越金額 5,908,003 円 + 本年度繰越金額 315,950 円)

2. 特別会計

単位：円

金融機関名	口座種類	合 計
UFJ 銀行 浄心支店	定期預金	1,011,019
	定期預金	7,077,158
	利息収入	5,578
合 計		8,093,755

平成 22 年度東海ブロック会事業報告書

社団法人日本柔道整復師会 東海ブロック会

年 月 日	事 業 名	会 場
平成 22 年 4 月 10 日 (土)	正副会長会 PM4:30 監査会 (平成 21 年度事業監査) PM5:30	米田柔整専門学校 名古屋市西区枇杷島 2-3-13 TEL 052-562-1210
5 月 13 日 (木)	決算理事会 PM4:00	愛整会館 名古屋市中区金山 5-13-22 TEL 052-871-2215
7 月 4 日 (日)	第 16 回東海 4 県役員合同協議会 PM2:00	愛整会館 名古屋市中区金山 5-13-22 TEL 052-871-2215
8 月 8 日 (日)	第 29 回東海ブロック会柔道大会 AM11:00 柔整師杯第 7 回東海少年柔道選手権大会	大垣武道館 岐阜県大垣市米野町 2-1-1 TEL 0584-88-2550
10 月 11 日 (月・祝)	第 19 回日整全国少年柔道大会 第 34 回日整全国柔道大会	講道館大道場 東京都文京区春日 1-16-30 TEL 03-3811-7151
11 月 7 日 (日)	(社)日本柔道整復師会第 45 回東海接骨学会 静岡大会・第 92 回中部接骨学会 AM10:00	アクトシティー浜松 浜松市中区板屋町 111-1 TEL 053-451-1111
平成 23 年 2 月 5 日 (土)	正副会長会・中部接骨学会合同会議	柿安名古屋店 名古屋市中村区名駅 4-6-7 TEL 052-533-2811
3 月 5 日 (土)	予算理事会(平成 23 年度事業及び予算審議) PM3:00	愛整会館 名古屋市中区金山 5-13-22 TEL 052-871-2215

* 卒後臨床研修 第 1 回 (平成 22 年 9 月 12 日 (日)) 第 2 回 (平成 22 年 9 月 26 日 (日))
(愛整会館) 第 3 回 (平成 22 年 10 月 3 日 (日)) 第 4 回 (平成 22 年 10 月 24 日 (日))

平成 22 年度 東海ブロック会一般会計収支決算報告書

(自:平成 22 年 4 月 1 日～至:平成 23 年 3 月 31 日)

収 入 額	7,773,860 円	(内 訳)	現 金	0 円
支 出 額	4,030,872 円		普 通 預 金	3,742,988 円
次年度繰越金	3,742,988 円			

1. 収入の部

(単位:円)

科 目	22年度予算額	22年度決算額	比較増減	備 考
1. 負担金	3,255,000	3,218,000	37,000	定額負担金 200,000円×4県=800,000円 人頭割 愛知(802)・静岡(324)・岐阜(325)・三重(161)・計(1,612人)×@1,500=2,418,000円
2. 預金利子	1,000	852	-148	受取利息
3. 雑収入	1,620,000	1,728,418	108,418	東海中部接骨学会誌負担金 1,618,418円 その他 110,000円
4. 繰越金	2,772,000	2,826,590	54,590	平成21年度からの繰越金
計	7,648,000	7,773,860	125,860	

2. 支出の部

科 目	22年度予算額	22年度決算額	比較増減	備 考
1. 会議費	2,400,000	1,644,187	755,813	
(1) 役員費	1,800,000	1,241,300	558,700	役員手当・交通費等
(2) 会議費	600,000	402,887	197,113	会長会・理事会・その他会議費用
2. 事務費	300,000	300,000	0	
(1) 事務費	300,000	300,000	0	(社)三重県柔道整復師会へ
3. 渉外費	300,000	266,153	33,847	
(1) 慶弔見舞費	100,000	118,153	-18,153	会員の死亡弔慰金など
(2) その他の渉外費	200,000	148,000	52,000	柔整専門学校の入学・卒業式の記念品代・祝花代等
4. 事業費	2,900,000	1,803,417	1,096,583	
(1) 柔道大会費	800,000	581,760	218,240	第29回東海ブロック会柔道大会・柔整師杯第7回杯東海少年柔道選手権大会(担当 岐阜県)
(2) 日整行事協賛費	800,000	368,758	431,242	第34回記念日整全国柔道大会・第19回日整全国少年柔道大会
(3) 役員合同協議会費	700,000	522,899	177,101	第16回東海4県役員合同協議会(担当 岐阜県)
(4) 助成費	600,000	330,000	270,000	東海ブロック会柔道大会(担当 岐阜県) 30万円 (社)日整実技研修ブロック会代表発表者(静岡県)助成3万円
5. 雑費	30,000	17,115	12,885	
(1) 雑費	30,000	17,115	12,885	振込手数料等
6. 予備費	1,718,000	0	1,718,000	
(1) 予備費	1,718,000	0	1,718,000	
計	7,648,000	4,030,872	3,617,128	

※ 項目内の流用を認める。

平成 23 年度東海ブロック会事業計画(案)

社団法人日本柔道整復師会 東海ブロック会

年 月 日	事 業 名	会 場
平成 23 年 4 月 9 日 (土)	正副会長会 PM4:30 監査会 (平成 22 年度事業監査) PM5:30	米田柔整専門学校 名古屋市西区枇杷島 2-3-13 TEL 052-562-1210
5 月 14 日 (土)	決算理事会 PM3:00	愛整会館 名古屋市中区金山 5-13-22 TEL 052-871-2215
7 月 3 日 (日)	第 17 回東海 4 県役員合同協議会 PM2:00	愛整会館 名古屋市中区金山 5-13-22 TEL 052-871-2215
7 月 24 日 (日)	第 30 回東海ブロック会柔道大会 AM11:00 柔整師杯第 8 回東海少年柔道選手権大会	浜北グリーンアリーナ 静岡県浜松市浜北区平口 5042-133 TEL 053-585-1222
10 月 10 日 (月・祝)	第 20 回日整全国少年柔道大会 第 35 回日整全国柔道大会	講道館大道場 東京都文京区春日 1-16-30 TEL 03-3811-7151
11 月 6 日 (日)	(社)日本柔道整復師会第 46 回東海接骨学会 愛知大会・第 93 回中部接骨学会 AM10:00	ウイング愛知 名古屋市中村区名駅 4-4-38 TEL 052-571-6131
平成 24 年 2 月 4 日 (土)	正副会長会・中部接骨学会合同会議 PM5:00	名古屋市内
3 月 3 日 (土)	予算理事会(平成 24 年度事業及び予算審議) PM3:00	愛整会館 名古屋市中区金山 5-13-22 TEL 052-871-2215

* 正副会長会は必要に応じて随時開催する。

* 必要に応じて臨時理事会を開催する。

* 卒後臨床研修予定 第 1 回開講式 (平成 23 年 9 月 11 日 (日)) 第 2 回 (平成 23 年 10 月 2 日 (日))
(愛整会館) 第 3 回 (平成 23 年 10 月 16 日 (日)) 第 4 回閉講式 (平成 23 年 11 月 3 日 (木・祝))

平成 23 年度 東海ブロック会一般会計歳入歳出予算書(案)

(自:平成 23 年 4 月 1 日～至:平成 24 年 3 月 31 日)

1. 歳入の部

(単位:円)

科 目	平成 23 年度 予算額 (案)	平成 22 年度 予算額	比較増減	平成 22 年度 決算見込額	備 考
1. 負担金	3,218,000	3,255,000	-37,000	3,218,000	※定額負担金 200,000円×4県=800,000円 ※人数割負担 愛知()・静岡()・岐阜()・三重()・計 人×@1,500円= 円
2. 預金利子	1,000	1,000	0	938	預金利子
3. 雑収入	1,620,000	1,620,000	0	1,728,418	ブロック行事関係者等祝儀・東海中部接骨学会誌印刷負担収入
4. 繰越金	3,644,000	2,772,000	872,000	2,826,590	平成23年1月末現在収支額より繰越見込額を計上
計	8,483,000	7,648,000	835,000	7,773,946	

※1 各県会員数は、平成 22 年度 3 月末日整加入会員数

2. 歳出の部

科 目	平成 23 年度 予算額	平成 22 年度 予算額	比較増減	平成 22 年度 決算見込額	備 考
1. 会議費	2,400,000	2,400,000	0	1,732,246	役員会・監査会、その他会議費用
(1) 役員費	1,800,000	1,800,000	0	1,282,560	
(2) 会議費	600,000	600,000	0	449,686	
2. 事務費	300,000	300,000	0	300,000	事務局経費(静岡県)
(1) 事務費	300,000	300,000	0	300,000	
3. 渉外費	400,000	300,000	100,000	276,585	会員慶弔金等 日整関係者慶弔見舞、専門学校入学・卒業祝い、他ブロック学会等祝い
(1) 慶弔見舞費	200,000	100,000	100,000	110,835	
(2) その他の渉外費	200,000	200,000	0	165,750	
4. 事業費	2,800,000	2,900,000	-100,000	1,803,417	第30回東海ブロック会柔道大会・柔整師杯第8回東海少年柔道選手権大会(担当 静岡県)7月 第35回日整全国柔道大会・第20回日整全国少年柔道大会(講道館)10月 第17回東海4県役員合同協議会(担当 三重県)7月 東海ブロック会柔道大会(担当静岡県)30万円
(3) 柔道大会費	800,000	800,000	0	581,760	
(4) 日整行事協賛費	800,000	800,000	0	368,758	
(5) 役員合同協議会費	700,000	700,000	0	522,899	
(6) 助成費	500,000	600,000	-100,000	330,000	
5. 雑 費	30,000	30,000	0	16,445	振込手数料など
(1) 雑費	30,000	30,000	0	16,445	
6. 予備費	2,553,000	1,718,000	835,000	0	
(1) 予備費	2,553,000	1,718,000	835,000	0	
計	8,483,000	7,648,000	835,000	4,128,693	

※ 項目内の流用を認める。

「学校法人 米田学園、特定医療法人 米田病院」主催

「創立 50 周年記念事業 一般公開セミナー」開催

平成 23 年 1 月 23 日（日）名古屋駅前ウインクあいち大ホールにおいて、午後 1 時 30 分から 3 時 30 分まで「学校法人 米田学園、特定医療法人 米田病院」主催により「創立 50 周年記念事業 一般公開セミナー」が開催されました。

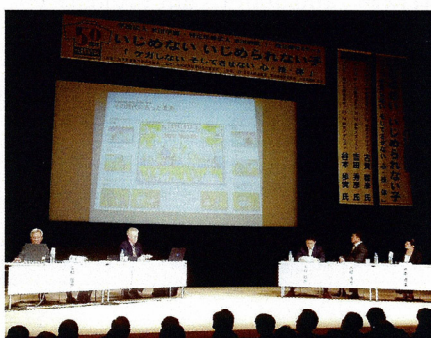
これは米田学園の柔道整復師養成施設設立 50 周年記念事業として開催されたものです。前日の第 1 日目「東海地区小学生柔道教室」に引き続き、第 2 日目「一般公開セミナー」として柔道整復師が支える子ども柔道教室、いじめ

ない いじめられない子～からだと心の痛みから知るやさしさへ～というテーマでゲストコメンテーターに、バルセロナ五輪男子柔道 71kg 級金メダリスト 古賀稔彦氏、バルセロナ五輪男子柔道 78kg 級金メダリスト 吉田秀彦氏、アテネ、北京五輪女子柔道 63kg 級金メダリスト 谷本歩実氏を迎えて行われました。

会場は 800 名収容の定員に対して抽選も行われた人気ぶりで、前半はゲストコメンテーター 3 氏の「オ



リンピックにまつわるエピソード」、二村雄次 愛知県がんセンター総長による「フランスの柔道事情」、ジョン・ギャスライト中部大学教授の「ヨーロッパでの子どもの柔道大会における、相手をおもいやる様子」などが報告され、後半には会場からゲストコメンテーター 3 氏への質問コーナーとなりました。会場の小・中学生からの「どうしたら強くなれますか？」という質問に対して



谷本氏…「夢を持つ」（オリンピックで金メダルを取るぞという強い夢・意志を持つ）。

吉田氏…「お手本」（いい先生、いい先輩の良いところを吸収・真似をする）。

古賀氏…「決心（トイレ）→欲」（強い決心・目標を色紙に書く、常に目に付くところ⇒トイレに置き本人はもちろん家族にも周知する、欲を引き出す努力 何をすれば良いのか常に考える。）

等それぞれ 3 氏が色紙に書き、現役時代さながらの歯切れのいい返答で子ども達の心をつかみ、会場は沸いていました。あっという間の 2 時間でした。



中日新聞社へ 東日本大震災 災害義援金寄託

平成 23 年 4 月 14 日（木）、本会伊藤和夫会長が津市の中日新聞社 三重総局を訪れ、東日本大震災の災害義援金として 100 万円を寄託しました。これは 4 月 10 日の理事会決議をへて被災者の一日も早い復旧を願い寄託したものです。

この日対応いただいた土岐正紀 中日新聞 三重総局長より、日本赤十字社を介して被災地へ送らせていただきますと、ご説明いただきました。この模様は翌 4 月 15 日の中日新聞三重版に掲載されました。



第 54 回通常総会開催（予算）

平成 23 年 3 月 20 日（日）午前 10 時より、津市の（財）三重県教育文化会館において、第 54 回通常総会が会員 108 名の出席により開催されました。開会に先立ち 3 月 11 日に発生した東日本大震災での犠牲者の方々に対し、1 分間の黙とうを捧げました。伊藤宣人副会長の開会の辞に続き伊藤和夫会長が「先の東日本大震災での日整会員の被災状況」、「日整及び本会の義援金抛出」、「被災者が施術に来院した際の対応」について述べられました。

議長に谷岡 浩会員、副議長に古市博己会員が選出され議事に入り、平成 23 年度事業計画（案）、平成 23 年度一般会計予算（案）が執行部より提案され、慎重に審議・質疑応答の上賛成多数で承認可決されました。引き続き役員改選に移り、理事定数 11 名に対し 14 名の立候補があり投開票が行われました。さらに会長・



副会長選挙が告示され無投票で伊藤和夫会長、伊藤宣人副会長が、指名副会長には豊田長億副会長が再選されました。監事については定数の立候補となり無投票でした。

その後伊藤宣人保険担当副会長より「保険部よりおしらせ」があり①柔整の現状、②保険取扱いで問題になっている事項、③新しい申請書：様式 5 号、④自賠責について、説明が有りました。最後に豊田長億副会長の閉会の辞で終了しました。

第 55 回通常総会・第 11 回協同組合通常総会・意見交歓会開催

平成 23 年 5 月 22 日（日）津市のホテルグリーンパーク津において、第 55 回通常総会が出席者 69 名、委任状 84 名（会員総数 173 名）により開催されました。

伊藤宣人副会長の開会の辞に続き、伊藤和夫会長が東日本大震災で被災した岩手・宮城・福島の前北三県の現状や義援金抛出について説明し、「本会の公益法人化に向け、会計・行事面など皆様のご協力をお願いします。」と挨拶がありました。新入会員紹介後、議長に古市博己会員、副議長に上田慎二会員が選出され議事に移りました。執行部より上程された平成 22 年度事業報告（案）、平成 22 年度一般会計決算報告（案）、会計監査報告、平成 23 年度一般会計修正予算（案）、（社）日本柔道整復師会代議員並びに補欠代議員選挙について、新役員紹介ほかについて質疑応答と審議が慎重に行われました。そして全ての議案が賛成多数にて承認可決され議事終了、保険部、学術部、柔道部、広報部からのお知らせがあり、豊田長億副会長の閉会の辞で終了しました。

休憩を挟み第 11 回協同組合通常総会が開催され、全ての議案が承認可決されました。

その後意見交歓会に移り、伊藤和夫会長開会の挨拶、ご来賓の田村憲久衆議院議員、川崎二郎衆議院議員、三ツ矢憲生衆議院議員、県会議員先生方からは、東日本大震災の状況・国政・県政の動き等のお言葉を頂戴した後、ご来賓・会員は意見交歓を深め盛会裡に終了しました。

保険部「保険研修・勉強会」開催

平成 23 年 2 月 20 日 (日) 午後 1 時 30 分から 4 時まで、
本会会館において保険部の「保険研修・勉強会」が、入会 1
年未満の会員中心に 8 名の出席により開催されました。

伊藤和夫会長が開会の挨拶で最近の業界の厳しい状況に
ふれた後、伊藤宣人保険担当副会長による説明に移り、

- ①施術録の記載の重要性
 - ②個別指導に対する対応
 - ③保険取り扱い上の注意 (健保、労災、自賠責)
- を中心に詳しく話されました。

一通り説明後、質問の時間が設けられ出席者からは、「施術延長理由の書き方」「対診と併診」など日頃からの施術・
保険取り扱いにおける様々な疑問がだされ、一つ一つ詳細に返答がなされ有意義に終了しました。



保険・施術録指導会

平成 23 年 5 月 8 日 (日) 本会会館において、午後 1 時 30 分から 2 時間にわたり保険部の保険・施術録指導会が
会員 40 名余の参加により開催されました。

伊藤和夫会長が開会挨拶で、最近よく見受けられる返戻書類への対応について述べられました。

続いて伊藤宣人保険担当副会長より①施術録について (表・裏面について)、②長期・濃厚施術について、③保険取
扱業務範囲 (急性・亜急性について)、④健保の取扱いと申請書の問題 (返戻に対する対応)、⑤一部負担金徴収につい
て、⑥受領委任欄署名について (白紙委任)、⑦自賠責の対応 (自由診療とは・一括請求：被害者請求について・人身
傷害特約について)、と説明されました。

質問コーナーでは、自賠責の対応、「無病」の取り扱い、返戻書類再提出の対応など日頃の施術における事例につ
いて、盛んにやり取りされていました。

平成 23 年度 第 1 回勉強会 開催

平成 23 年 4 月 24 日 (日) 午前 10 時から三重県柔整師会館において、会員 20 名余りが参加し熱心に耳を傾けました。

伊藤和夫会長の「普段聞けないような話をどんどん聞いてください。」との挨拶後、豊田学術担当副会長の司会進
行により、参加者より事前に出された質問内容を確認しながら進められました。

内容は

- ①柔整療養費、労災、自賠責保険取扱等の相談：保険部担当
 - ②パソコン相談：IT 委員会担当
 - ③日常の施術で悩んでいる症例：学術部担当
- で、それぞれ担当より詳しく回答されました。

開始当初は緊張した雰囲気でしたが、担当の先生方やベテラン先
生方の経験談等で次第にうちとけた雰囲気にかわり、肩関節脱臼の
整復実技では柔道の帯を使った一人整復操作実演も披露されました。

次回、第 2 回を 8 月 7 日 (日)、第 3 回 11 月 27 日 (日) に予定しています。



柔道練習会

平成 23 年 4 月 10 日 (日)、5 月 8 日 (日) 高田高校柔道場にて柔道練習会が開催されました。

5 月 8 日の練習には本会会員、近隣の少年柔道教室、中学生、高校生合わせて 70 名ほどが集まり午後 3 時から 5
時過ぎまで稽古で汗を流しました。

当日は午後からぐんぐん気温が上がり 28℃の夏日となりましたが、みな真剣に寝技、立ち技の乱取りに取り組み
ました。7 月 24 日 (日) の東海ブロック会柔道大会出場選手 5 名も一生懸命汗を流していました。

震災ボランティア活動報告

鈴鹿支部 前田 信

震災でなくなられた方々のご冥福をお祈り申し上げますとともに、被災された皆様に対しまして心よりお見舞い申し上げ、一日も早く復興できますよう祈念致します。

5月12日夜より17日夕方まで、恩師である伊賀支部の坂本先生と津支部の大西先生と坂本先生の書生の西廣先生と坂本先生の娘さんの佳子さんと私の5人で岩手県宮古市と大槌町へ震災ボランティアに行かせて頂きました。

13日の昼前に盛岡に着き、岩手県庁、日本赤十字社岩手県支部に訪問し義援金の寄付をさせて頂きました。

盛岡近辺では震災の影響は全く見受けられませんでした。翌日避難されている場所に行く途中、なんとも言えぬ光景が目に見えてきました。見るも無残な有様で辺り一面瓦礫が広がり、津波の恐ろしさを肌で感じ、只、呆然として言葉がでませんでした。そして震災後2ヶ月が経つというのにいまだ毎日震度3~4の余震があり夜も安心して眠れない状況です。

施療について、初めは遠慮され断られるかとか、被災された方に失礼な事のないようにと不安や緊張がありましたが、心待ちにしてみましたと言われ安心しました。柔道整復師の施療を受けた事のない方が多く、施療後、すぐく痛みが消え、身体が軽く、動きやすくなり、大変驚かれておりました。また、坂本先生の施療では



(仮設のお風呂。強風時は利用不可)

毎日感極まって涙する方が多く、被災された方に寄り添い、温かく包み込むような姿勢で、心に響く話し方をされており、まだまだ未熟な自分を実感させられました。喜んで頂いた方の中には携帯電話でたくさんの知り合いの方に連絡され、会場に呼んで頂きました。なかには施療後、感動された女の子が、どうしたら柔道整復師になれるのか真剣に聞きに来られました。一日の終わりにはその場の皆さんから温かい拍手を頂き、最終日帰り際には「パワーを下さい」と私たちみんなに握手を求められた方もみえ、6日間と本当に短い期間でしたが、普段味わうことのできない体験ができ、感動をさせて頂きました。私の人生でこんなにも喜んで頂いた事は初めての経験です。私一人ではこんな感動はなかったでしょう。

最後にこういう機会を与えてくださった坂本先生をはじめ、同行された先生方、佳子さん、送り出してくれた妻、両親、患者さんに感謝致します。



(千葉の保健師のみなさんと)



(大槌町吉里吉里中学旧体育館にて)

エコキャップ運動

松阪地区 坂本 貴哉

松阪支部では、松阪シティマラソンやスポーツ少年団等への救護をはじめ、災害時の応急救護協力について市と協定を結ぶなど、地域ボランティア活動を積極的に取り組んでいます。今回は、約1年半前から行ってきたエコキャップ運動の活動報告です。

施術所の待合室などに「エコキャップ運動」のポスターを張り活動と呼びかけました。

その甲斐もあって、患者さまや知人などから集まったペットボトルのキャップが90リットルのポリ袋に25袋以上も集まりました！

集まったエコキャップをリサイクル業者へ売却し、その得た利益で途上国へワクチンを贈ります。

今回のボランティア活動は中日新聞、夕刊三重の取材もあり、患者さまからも「新聞見たよ」と何度も声を掛けていただき、エコキャップを持参して来院していただく患者さまも増えました！これからもエコキャップ運動は継続していく予定です。



※中日新聞に掲載された写真です。
(右より 田畑、前川、押越、五島、坂本)

第17回柔整師杯県下少年柔道大会ポスターカレンダー作成



本会では今年6月26日(日)に開催される、第17回柔整師杯県下少年柔道大会開催のポスターカレンダーを作成しました。

昨年までは大会開催告知のみのポスターでしたが、カレンダーを兼ねたものにしてみたらとの意見があり、秋田県・愛知県・石川県のポスターを参考に検討し種々アイデアをいただいた上修正を重ね出来上がりました。上部に「第17回県下少年柔道大会」開催を告知し、合わせて「第8回東海少年柔道選手権大会」「第20回日整全国柔道大会」日程も選手たちの目標となるように掲載しました。

下部には縦に4月から翌年3月までのカレンダーを、真ん中に三重県の地図をシルエットにし、その上に昨年の3大会(県下・東海・日整)の写真をピックアップして重ねました。

更に「三重県柔道整復師会」といっても一般には分かりにくいのではとの声もあり、「あなたの町の接骨院・整骨院」と記載しました。A2版のサイズで1,000部印刷し、各道場・各選手・関係部署・本会会員へ配布します。年間を通して県内各地に掲示されることで、本大会および本会の公益事業PRにつながることを期待します。

6月、熱い夏

桑名支部 水谷 澄夫

6月、三重県下で柔道を学んでいる小学生高学年にとっては熱い夏の始まりです。初週には全国大会の県予選を兼ねた県大会が行われ、末週には日整全国少年柔道大会の県予選を兼ねた県下少年柔道大会が行われます。

7月には強化指定を受けた選手による県下の合同練習会、東海四県の強化合宿、柔整師の東海四県の大会へと進みます。

8月、全国小学生学年別柔道大会、そして10月、日整全国少年柔道大会へと続いてゆきます。選手、指導者、保護者が三位一体となって日々の練習に励んでいるのです。

そんな中、日整全国少年柔道大会には特別のものが感じられます。それはチーム編成にあります。全国にいろいろな大会がありますが、ほとんどの大会は柔道教室や道場単位が基本であり、混合チームは認められていないのです、これは中学生も同じです。高校生、一般には国民体育大会のみ県下の選抜選手による混合チームが認められています。

小学生のチーム編成内容は、先鋒四年生、次鋒・中堅五年生、副将・大将六年生の五人です。一年を通して最大のライバルであり、一番イチャな奴が、日整全国少年柔道大会の一日だけは、一番信頼出来る最高の友達となるのです。ここで結ばれた彼ら五人の友情は以後の県下の大会会場でもたびたび見受けられます。

この大会にはもう一つ素晴らしいことが有ります。それは、四十七都道府県が揃って参加することです。各地域のブロック予選はありませんから四十七都道府県が公平に参加できます。ただし、難点もあります。試合は全てトーナメント方式のため負ければ終了です。各都道府県より選ばれた最高の選手五名が一つのチームとなり日本一を目指す、小学生にとって日本一厳しい最高レベルの試合、それが日整全国少年柔道大会です。

さらにこの大会が行われる会場は、柔道家なら誰もが憧れる、講道館の大道場で行われることも忘れてはなりません。四面同時に行われる小学生最高の試合、是非一度現場で体感してみたいはいかがでしょうか。

最後に、本年の県下少年柔道大会において本会会長もお話をされましたが、この素晴らしい大会の予選となる県下少年柔道大会を、参加してくださる小学生選手のために最高の舞台になるように演出するのも、私達の役目なのではないでしょうか。



第 17 回柔整師杯県下少年柔道大会開催



第 17 回 柔整師杯県下少年柔道大会

平成 23 年 6 月 26 日 (日) 【三重県営伊勢サンアリーナ】

		優 勝	準優勝	第三位	第三位
4 年生	男子の部	しまだ ゆう た 島田 優太 (石榑道場)	やまぐち りょうだい 山口 隆乃 (粥見道場)	み うら けい こ 三浦 啓瑚 (さざれ道場)	やまむら りゅうと 山村 隆斗 (久居柔道教室)
	女子の部	いきみね は すみ 生峰 羽澄 (久居柔道教室)	やまもと み き 山本 実希 (伊勢柔道少年団)	とこなべ あや の 床辺 彩乃 (粥見道場)	さかきばら さ き 榊原 早生 (神前柔道教室)
5 年生	男子の部	いそ べ こうすけ 磯部 昂佑 (さざれ道場)	ゆみ や けんしゅう 弓矢 健奨 (石榑道場)	い わはな かい と 岩花 快斗 (石榑道場)	い もと りゅうせい 井本 龍星 (粥見道場)
	女子の部	なみ き れい 亜 並木 玲阿 (三重武道館)	せ こ らん な 瀬古 蘭奈 (松阪市武道館)	にしあしたに みやび 西芦谷 雅 (さくら道場)	かわむら さち 保 川村 幸穂 (神前柔道教室)
6 年生	男子の部	やましな りょうご 山科 良悟 (松阪市武道館)	あら い りょうへい 新井 涼平 (久居柔道教室)	やぶ た ゆう き 薮田 優樹 (四日市もの)	あら き しゅんすけ 荒木 駿甫 (松阪市武道館)
	女子の部	つげ こな み 柘植 小那実 (久居柔道教室)	さとなか りょうご 里中 なつみ (伊勢柔道クラブ)	さいとう ぼのか 齋藤 穂果 (三雲柔道会)	むらやま こう き 村山 弘紗 (長岡柔道 SP 少年団)

■全国大会出場者

4 年生	しまだ ゆう た 島田 優太 (石榑道場)
5 年生	いそ べ こうすけ 磯部 昂佑 (さざれ道場)
6 年生	やましな りょうご 山科 良悟 (松阪市武道館)
	ゆみ や けんしゅう 弓矢 健奨 (石榑道場)
	あら い りょうへい 新井 涼平 (久居柔道教室)

試合が展開され、この模様は地元ケーブルテレビのアイティビー、中日新聞、夕刊三重にて紹介されました。

今大会も前日準備、当日の大会運営、後片付けには本会会員・地元皇學館高校柔道部員・他の方々のご協力により、昨年よりもスムーズに終了することができました。さらに全ての試合終了後、閉会式までの時間を利用して参加選手・保護者・会員全員で会場のゴミを拾い清掃活動を行いました。

各部門上位 4 名は、7 月 24 日 (日) 静岡県浜松市で開催される『柔整師杯第 8 回東海少年柔道選手権大会』(個人戦) へ出場します。

また 10 月 10 日 (月・祝) 講道館で開催される『第 20 回日整全国少年柔道大会』(団体戦) の三重県代表には、4 年生・島田優太君 (石榑道場)、5 年生・磯部昂佑君 (さざれ道場)・弓矢健奨君 (石榑道場)、6 年生・山科良悟君 (松阪市武道館)・新井涼平君 (久居柔道教室) の 5 名が出場します。

平成 23 年 6 月 26 日 (日) 三重県営伊勢サンアリーナにおいて、本会主催の公益事業最大イベント『第 17 回柔整師杯県下少年柔道大会』が開催されました。県内 43 の道場・柔道教室より 330 名が参加し、小学 4・5・6 年生の学年、男女別、体重無差別の個人戦 6 部門で試合が繰り広げられました。当日は梅雨の合間で晴れ渡り、気温 30℃を超える蒸し暑い中、全国大会を目指し熱く激しい戦いが繰り広げられました。

今年は開会式前の時間を利用し昨年の県下少年柔道大会決勝戦の模様、また 10 月の日整全国少年柔道大会で三重県チームが全国ベスト 16・フェアプレー賞を受賞した模様を場内の大画面スクリーンに映し紹介・報告し、この大会が全国大会へつながっていることを改めてアピールしました。

橋本誠柔道部長の開会の辞に始まり、伊藤和夫会長挨拶では昨年の日整全国少年柔道大会での様子を紹介して「正々堂々の試合でケガのないよう、全国大会を目指して頑張ってください。」と結びました。本会顧問の田村憲久衆議院議員よりお言葉をいただき、山科良悟選手 (松阪市武道館)、齋藤穂果選手 (三雲柔道会) による力強い選手宣誓後、熱戦の火ぶたが切って落とされました。4 試合会場では白熱した



(6 年男 弓矢 × 小林)



(5 年男 決勝 磯部 × 弓矢)



大接戦ゆえケガに見舞われる選手もあり、今回は 8 名の応急処置に本会救護班は大忙しで、整復・固定対応に追われていました。

(救護 肘 固定)



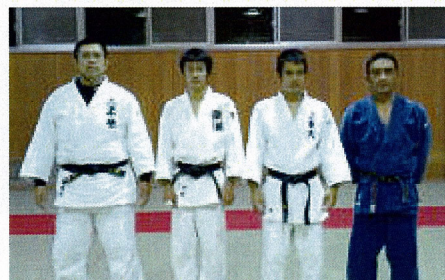
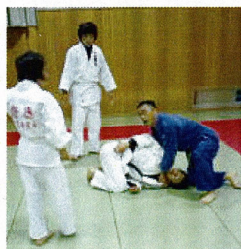
三重大大学柔道部外部コーチとしてのボランティア活動

松阪地区 田端 隆宣（左端）

昨年の11月より三重大大学柔道部に外部コーチとして指導に通っている。元の始まりは、私自身の稽古場探し中に三重大柔道部監督の大道先生と知り合い、三重大柔道部の稽古参加するようになったのがきっかけである。

大学生との稽古を行ううちに大道監督からの特別コーチ就任要請という光栄なお言葉を頂き、『私のような者でお役に立てるなら』と引き受けました。ただ私も普段は施術所の業務があり、あくまでもボランティアとしての活動として指導とさせて頂いています。

私は柔道整復師として柔道の教授を行うは、ほねつぎ 本来の姿と考えており、今回の指導は柔道整復師として救護以外で行うボランティア活動として最適と思いました。三重大大学柔道部の稽古日は毎週火曜日・木曜日・土曜日（出稽古）であり、その内伺えるのは木曜日の週1回と僅かではありますが、学生と共に汗を流しております。三重大大学柔道部の稽古は、大道監督のカラーともいうべき寝技の稽古に重きをおいています。私が初めて伺った際も、大東亜戦争前に一世風靡した高専柔道の技術を目の当たりにし、凄く新鮮な気持ちになった事が忘れられません。ただ、立ち技に関しては多々手直しが必要な状態であった為、私が微力ながら立ち技の指導をほぼ担当するようになりました。三重大柔道部の学生は講義後の実験や研究等もあり全員が揃う事はありませんが、少数精鋭ながら皆が熱心に稽古に打ち込み、本当にいい雰囲気を楽しみながら指導にあたっております。三重大柔道部を指導するにあたり、私が天理高校、天理大学で学んだ天理柔道を学生に伝えようと考えました。なかでも恩師である藤猪省太先生から学んだ『目線の重要性』と『組み手と崩し』に重きを置いて指導を開始いたしました。最近、指導したのが以下の内容であります。



① 目線についての指導（要約）

せっかく技を掛けても目線が力を込める所を捉えていなければ力が半減する。恩師・藤猪先生の弁をお借りすると『重い荷物を持つとき、荷物を見て持つのと見ないで持つのでは力の入り方が違う』という事である。大外刈や払い腰を仕掛けた際、刈足と別の方向を向いていたのでは、力が分散してしまいます。刈技などではしっかりと刈る足をみる。

② 『組み手』について（要約）

- 1、引き手の取り方
(段階を踏んでの取り方)
- 2、釣りの取り方
(段階を踏んでの取り方)
- 3、組み合う際の注意
(立ち関節を意識しての組み方)
- 4、引き手の切り方
- 5、釣りの切り方
- 6、その他
(引き手の手繰り方など)

③ 各技の入り方・崩しと足捌き (今まで指導した内容)

- 1、大内刈について
(相四つ・ケンカ四つ、引き出しでの入り方)
- 2、二段小外刈
(相四つで相手が押し込んできた際に、押し返して放つ方法)
- 3、支え釣り込み足
(目線の位置の付け方)
- 4、立ち姿勢からの寝技への移行
(腕返し、腕絡み、腕固め)

以上のような事を学生と楽しみながら教えると言うより私自身も再度、楽しんで学んでいるといった感じです。最近では、大道先生のご好意で、私が指導している柔道教室の小中学生も三重大柔道部の稽古に参加させていただいている。子供たちも大学生のお兄ちゃん達との稽古を楽しみにしているし、引率のお母さんにも『子供も三重大での練習を楽しみにしているんです』と言って頂いた、大変嬉しい事である。私の柔道指導ボランティア活動を通じて色々な方に喜んで頂けた、本望であります。

このボランティア活動により講道館柔道にある『白他共栄』が少しではあるが自分なりに実行出来たかと思っている。学生時代、天理大学の武道館柔道場の正面には

- ・精力 最善 活用
- ・自他 融和 共栄

と書かれた大きな額縁が飾ってありました。

その中の、自他融和共栄の気持ちでボランティア活動にあたっていきたいと思っています。

一昨年の9月17日から29日までの間に、ネパールからヒマラヤ山脈を越えてチベット側のエベレスト北壁(5,200m)に至る道中に撮影した写真です。エベレスト北壁(8,848m)の写真はエベレスト・ベースキャンプから23日早朝に撮影したものです。峠からの写真は25日の午後にトン・ラ峠(5,050m)から撮影したヒマラヤ山脈の写真です。



私の趣味 II

松阪支部 西村 潤二

第11回 琴伝流大正琴 三重県大会が6月12日に松阪文化会館で開催されました。私が所属する「おりひめグループ」と町内の「グリーンティ」と合同で出演し全部で52チーム、私たちは初出場で2番目に演奏しました。

*曲名は ブルーライトヨコハマ (いしだあゆみ)

大台町就業改善センターで、琴玲会会長の吉田祐子先生のご指導で平成20年6月から月2回、午後1時から2時半までの1時間半のお稽古です。毎日家での練習はかせません。

今まで大台町の文化祭2回、昨年4月10日は伊勢サンアリーナで全国大会が開催されました。この三重県大会は4度目のステージとなり何とかなれてきました。

大正琴は名古屋の大須で誕生し、今年で100年を迎えます。来年2月12日には合同の五流派による記念演奏会が開催され、私たちも先輩方に交じって出演する事になっています。

尚、毎週日曜日 午前8時25分~35分までCBCラジオにて、琴伝流「大正琴こころのメロディ」という番組があります、聞いてください。そして「大正琴をやってみようかなあ!!」と思われた方は是非ご連絡ください。



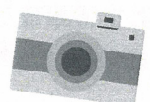
かわら版(仮称)アイディア募集結果

(応募件数 2 件)

- ・津支部 宮原大輔
◎三重の骨組み
・今日から骨太! ・骨太心身 ・健康は骨太より
- ・津支部 日野 勝
◎筋骨クラブ
- ・骨・筋肉系を中心に機能的なところの説明
- ・正しい筋トレの仕方
(ピンポイントに鍛えにくい筋肉の鍛え方等)
- ・外傷等の応急処置の仕方
等々をわかりやすく解説するコーナー
(応募ありがとうございました)

三重県柔道整復師協同組合より 写真応募について

事務局1F趣味のコーナーへ応募作品を現在掲示中!
風景・人物それぞれA4サイズ2点、2か月掲示。
年間最優秀の作品には3月の総会において表彰いたします。額は事務所にて用意致します。
A4サイズの写真2点以内をプリントして支部名・氏名・撮影日・タイトルを記入し事務局まで送付してください。
どうぞ奮ってご応募ください!!



新入会員紹介

- ①入会日 ④柔整師になった動機
- ②施術所 ⑤趣味
- ③施術所住所 ⑥今後の目標



四日市支部 船越 将吾 先生

- ①平成 23 年 4 月
- ②ふなこし接骨院
- ③四日市市松寺 3 丁目 1-26
- ④幼少から高校まで柔道をしており、よくケガで接骨院に通っているうちに自分も

こんな仕事をしたいと思うようになりこの道を目指しました。

- ⑤魚釣り、ドライブ
- ⑥日々努力し、1 日でも早く患者様と信頼関係を築けるように頑張ります。



伊賀支部 安田 勝章 先生

- ①平成 23 年 5 月
- ②西口柘植接骨院
- ③伊賀市柘植町 1736-1
- ④第二の人生を人の痛みを和らげ自分自身も癒される仕事であると思い柔整師を選びました。

- ⑤読書
- ⑥柘植において地域の健康の発信基地として頑張りたいと思っています。



四日市支部 細川 栄治 先生

- ①平成 23 年 6 月
- ②しものファミリー整骨院
- ③四日市市山城町 23-27
- ④手あてによって多くの人とふれあう事ができ、かつ人様のためにお役に立ち喜ば

れる仕事だと思ったから。

- ⑤映画鑑賞
- ⑥さらなるスキルアップと人間の品格（人間力）の向上



松阪支部 中川 博之 先生

- ①平成 23 年 7 月
- ②なかがわ接骨院
- ③松阪市久保町 1199-5
- ④元競輪選手でケガが多く、自分の経験を生かそうと思い治療家の道を選びました。

- ⑤山登り、サイクリング
- ⑥患者様と信頼関係が築けるような治療家を目指して頑張っています。

お祝い 平成23年 3月21日 四日市支部 日置 貴宣 会員 ご結婚おめでとうございます。

お悔やみ 平成23年 7月11日 松阪支部 五島 清志 会員 (ご母堂様告別式)

編集後記

6 月 26 日、第 17 回県下少年柔道大会が無事終了しました。

昨年までの反省点を生かし、色々な面で改善されスムーズな進行であったと思います。

受付に始まり、昨年の大会を動画で紹介、選手整理の手順、救護所の表示など試合会場現場の意見・他の柔道大会の見習うべき点を探り入れ、また会員皆様のご協力によりここ数年の大会運営と比較して改善されたのでは、と感じました。

今回ご投稿くださいました桑名支部 水谷澄夫先生の「6 月、熱い夏」にも紹介されていますが、本会の公益社団法人化に向けての最大事業であるこの大会を、会員皆様のご意見ご協力いただき更に盛り上げてゆくのも私達の役目であり、会訓の一つ「社会に貢献」なのではないでしょうか。

今回もこの誌面作成にあたり、写真ご協力いただきました米田学園様、米田病院様、顧問弁護士 富田俊治先生、県下少年柔道大会準備など大変お忙しい中ご協力いただきました先生方・事務局の方々に心より感謝致します。

次回、平成 24 年 1 月末の発行を予定しております。

(広報部長 伊藤昌夫)

